岩手の教育課題に応じた小中一貫教育のモデルカリキュラムの開発(その1) ~国語および算数・数学について~

田代 高章·小岩 和彦·森本 晋也*,藤岡 宏章**,藤森 崇浩·町畑 光明·浅沼 美里·岡本 優·川戸 悠·小笠原 恵·三井寺 健司·小原 俊介·関川 健生·菅原 真紀*** (2019年2月15日受付) (2019年2月15日受理)

Takaaki TASHIRO, Kazuhiko KOIWA, Shinya MORIMOTO, Hiroaki FUJIOKA, Takahiro FUJIMORI, Mitsuaki MACHIHATA, Misato ASANUMA, Yuu OKAMOTO, Haruka KAWATO, Megumi OGASAWARA, Kenji MIIDERA, Syunsuke OBARA, Takeo SEKIKAWA, Maki SUGAWARA

Development of a Model Curriculum for Integrated Elementary and Junior High School Education Responding to Iwate's Educational Issues : Focusing on Japanese and Mathematics

要 約

本研究は、平成29 (2017) 年に告示された改訂学習指導要領を踏まえながら、教育学研究科教職実践専攻 (教職大学院) の1年次講義科目である「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」(前期必修) を踏まえ、「学習指導要領とカリキュラム開発」(後期必修) の成果の一つとして、小中の校種をつなぐ9年一貫のカリキュラムを開発し提案するものである。その際、岩手県の特性を生かし、東日本大震災の復興という観点から沿岸被災地の学校をモデルにすること、小中一貫教育に取り組む学校をモデルにすること、という条件を定め、あわせて、岩手の教育課題を念頭に、国語科、算数・数学科、総合的学習、特別支援教育の4つのテーマを取り上げて、独自のカリキュラム開発を提案し、岩手の学校教育実践の発展向上への貢献を目指す研究である。本稿では、国語科、算数・数学科の全体カリキュラム案を提示する。

第1章 本研究の趣旨・目的

本研究の目的は、岩手県被災地沿岸部の学校を 想定して、一定のテーマに焦点化しつつ、各学校 のカリキュラム開発に際して参考となりうる小中 一貫教育の全体的なカリキュラム案をモデル提示 することである。

今回の改訂学習指導要領では、将来の不確実で 多様な社会像を見据え、「よりよい学校教育を通 じてよりよい社会を創る」という表現にも象徴されるように、学校教育で学んだことが将来の社会において活用できる力の育成を目指している。このような教育課程改革を通して、子どもたちに、就学前教育を含め学校教育を通じて、個々人として生涯にわたって学び続ける力を育て、自らの人生を切り拓くとともに、社会の創造にも寄与しうる力を育むことが求められている。このような学校教育を通じて育み、将来にもつながる力を、改

^{*}岩手大学大学院教育学研究科、**岩手県立総合教育センター、***岩手大学大学院教育学研究科教職実践専攻

訂学習指導要領では「資質・能力」という言葉で 強調している。

そのために、学校が家庭や地域と協働しながら、 将来の社会を創る担い手を育む環境を整え、学校 教育の質全般を高める必要がある。「社会に開か れた教育課程」も、そのような学校から、家庭・ 地域への横の広がりと、学校種を超えて、子ども の発達に即して生涯全般にわたる、縦のつながり としての両側面を意味するといえる。

何よりも、現在の子どもたちの実態や家庭や地域の現実に照らしながら、現在から未来に向けて、学校教育でどのような力、すなわち、「資質・能力」を育む必要があるかを、各学校において意識しつつ、それらの力を育むのにふさわしい教育内容(教科等の内容、単元内容等)と、主体的・対話的で深い学びという授業改善の視点を生かした適切な教育方法が工夫され、それらの教育活動全般の有効性を適切に評価し、教育活動の絶えざる修正・改善に努めていくことが求められている。いわゆるカリキュラム・マネジメントの視点から、常に教育改善に努めていくことが学校・教職員、学校関係者全般に求められる状況にある。

特に改訂学習指導要領では、各教科や専門性に基づくミクロな観点のみならず、個々の子どもの成長発達という人生全体で、子どもに応じた「資質・能力」を伸ばすことを目ざすために、マクロな観点から、教科間の関連や、校種間の接続が重視される。教科をこえる汎用的な能力や、日常生活の事象や地域の課題は、必ずしも特定の教科等に限定されるものではなく、学際的な性格を持ちうる。また、個々の子どもの生涯にわたる人生全体からは、小・中・高と校種相互の関連性を教員自身も意識しながら、当該子どもにとって意味ある教育活動を構想していくことも必要である。

このように、これからの各学校の教員にとっては、全体鳥瞰図としてのカリキュラムをデザインできるカリキュラム開発力を高めることが求められるといえよう。

本研究では、マクロな観点からのカリキュラム の全体像を開発する力の育成を目指しつつ、ある 程度の具体性をもって提案するために、以下の条件を付した。

①東日本大震災の復興という岩手の地域特性を 考慮し、沿岸部・被災地の学校を想定すること。

②校種を超えて、個々の子どもの成長発達の全体を見通しながら教育活動に取り組むことを考慮し、義務教育段階の小中一貫教育のカリキュラムを開発すること¹⁾。

③岩手の教育課題に照らして、4つの具体的テーマに即してカリキュラム開発すること。本研究では、院生とも協議した結果、具体的には、国語、算数・数学、総合的学習、特別支援教育の4テーマとした。

以上の条件を踏まえ、各テーマにおいて、「資質・能力」と単元内容の系統的発展を念頭に置いた全体計画案、年間指導計画案の作成提案を行うものである。

もちろん、それらのカリキュラム案は、あくまで提案であって、絶対不変な計画案ではありえない。本研究で提示するカリキュラム案は、現実の子どもたちに対して、各学校現場で実践することを通じて、常に修正・改善に努め続けることが必要である。

本研究で提示するモデルカリキュラムの成果は、安易に評価できるものではなく、ある程度の 期間における各学校での実践活用を通じて、その 有効性や正当性が検証されていくと考える。

本研究は、これからの学校教員に求められる、 子どもに即したカリキュラム開発力育成の出発点 の位置づけを有している。 (文責 田代高章)

第2章 研究の方法

カリキュラム開発にあたり、下記のフィールド 調査を踏まえ、「国語」「算数・数学」「総合学習(ふるさと科)」「特別支援教育」のテーマを設定した。 また、多様な見方・考え方で協議しながらカリキュ ラム開発を行うことができるよう、学卒院生と現 職院生を混合にし、多種の校種からなるグループ を編成した。そして,前期科目「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」と後期科目「学習指導要領とカリキュラム開発」の授業の一環として下

記のフィールド調査を行い,沿岸被災地における 状況を把握しながらカリキュラム開発を行った。

2018年 6月4日 (6月11日)	岩手県教育委員会を訪問し、「幼保小接続」「学力向上」「道徳教育」「復興教育」のテーマについて担当の指導主事に本県における現状について調査した。
6月25日	上記の4つのテーマでのカリキュラム開発の中間報告会に岩手県教育委員会から指導主事を招き、改善点について助言を受けた。 ※作成したカリキュラムについては、県教育委員会の各担当指導主事に送付し、評価(良かった点と改善点)を受けた。
7月20日	釜石市立唐丹小学校と唐丹中学校を訪問し、沿岸被災地における教育の現状及び小中及 び地域との連携の現状について、管理職及び地域の方から聞き取り調査を行った。
9月21日	釜石市立唐丹小学校と唐丹中学校の学校公開研究会に参加し,沿岸被災地における学校 教育の現状について調査した。
11月9日 11月10日	大槌町で開催された小中一貫全国サミットに参加した。大槌学園及び吉里吉里学園にお ける公開授業を参観し、沿岸被災地における小中一貫教育の現状について調査した。
2019年 2月12日	小中一貫カリキュラム開発の最終報告会に、これまで大槌町における小中一貫教育の指導にあたっていた岩手県立総合教育センター所長を招聘し、作成したカリキュラムについて評価を受けた。

(文責 森本晋也)

第3章 小中一貫モデルカリキュラムの提案

1 国語について

(1) 国語教育における現状

全国学力・学習状況調査の県の結果²⁾ は、小学校ではAB問題ともに全国を上回っているが、A問題の「読むこと」の正答率が最も低くなっている。中学校のB問題では「話すこと・聞くこと」以外の領域が全国平均をわずかに下回っており、活用力に課題があると考える。岩手県学習定着度状況調査の県の結果³⁾ は、小学校、中学校ともに「読むこと」の正答率が最も低く、特に登場人物の言動から心情等をとらえることや要旨をとらえたり要約したりすることが低い。「書くこと」では、書かれている内容から自分の考えや意見を

書くこと、「話すこと・聞くこと」では、小学校では、話の内容の大体をとらえて聞くこと、中学校では、発表の内容をもとに話し合いの流れをまとめることの正答率が低くなっている。同様の傾向がモデル校の子どもたちからもうかがえる。

(2) カリキュラム開発の視点

前項で示した学校の実態と、「ふるさとを愛し、 よく考え、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」⁴⁾という学校教育目標を基に、小中一貫教育の国語教育全体計画を作成した。

学校教育目標を基にして、「目指す子ども像」を他のカリキュラム作成グループと協議の上定めた。「思考力・判断力・表現力等」の育成を重視し、テクストや情報から理解したことをもとに、自分の思いや考えをもち、文章や発話により適切に表

現することができる子どもの育成を目指してい る。⁵⁾ 学習過程の中において、特にも「考えを 形成する」過程を重視したものである。国語科と して、自分の考えを持ち、適切に表現することの 出来る資質・能力を高めることで、被災地の復興 と発展を担う人材の育成に寄与したいと考えた。 考えを形成し表現する力を重点となる資質・能力 と定め、小学校から中学校までの縦のつながりを 意識した全体計画とした。モデル校においては. ホップ・ステップ・ジャンプ期(4-3-2)で 期を分けている。国語グループでは、学習指導要 領6)の目標及び内容上の区切りから、小学校低 学年,中学年,高学年,中学校の4つに期を分け て系統を考えた。4-3-2制の利点である,3, 4年生の接続と6年生と中学1年生の接続が円滑 に進むという点については、本カリキュラムにつ いてもその視点を生かした運用を図る必要があ る。

学習の基盤となる資質・能力の一つである言語 能力は子供たちの学習を支える重要な力である⁷⁾。 言語能力は全ての教科等の言語活動の充実を通し て高めるものである。国語科を要として他の教育 活動との関連を図りながら言語能力を高めるとい う視点を大切にした。

教科等横断的な視点を持つ上で特にも意識したのは、総合的な学習の時間「ふるさと科」との関連である。ふるさと科の学びと国語科の学習を言語能力という資質・能力ベースでつなぐことを意識した。同様に、特別活動とのつながりも意識した。児童会・生徒総会などの話合いを、言語能力を発揮する場面と捉え、関連する国語科の単元を明らかにした。

(3) モデルカリキュラムの提案とその特徴

モデル校は震災の被災地にある。町は「町づくりは、人づくりにあり」人づくりは、教育にあり」という理念を掲げ、グローカル人材の育成を目指している。 $^{8)}$ モデル校の実態を踏まえたカリキュラムの提案として具体的には小中一貫の国語教育全体計画(図1,2)と、国語科年間指導計画(図表3,4,5)を作成した。それぞれについて特徴

を述べる。

まず、全体計画についてである。前項で述べた 「国語教育の重点となる資質・能力の明確化」「言語能力の育成の要としての国語科」「教科等を横断して言語能力を育成する」という視点を中心に 作成した。その主な特徴は二つである。

一つ目は、重点となる資質・能力を国語の学習における「考えを形成する」過程に焦点化したことである。子供たちの学習状況とふるさと科などの学びの成果を発信するための表現力を高めたいという願いを踏まえてのものである。重点となる資質・能力の系統表中の思考力・判断力・表現力等は、学習指導要領の「読むこと」の指導事項のオ、「書くこと」のウ、「話すこと」のイと、考えの形成に関わる指導事項を基に整理した。

二つ目は、言語能力を高める要としての国語科と、各教科等との関連を示したことである。各教科等の学びの中において国語科で培った言語能力を発揮する。一方で、各教科等の言語活動を通して言語能力を一層高める。特にも、ふるさと科との横のつながりを資質・能力ベースで意識した。探究の過程の中で言語能力を発揮する場面を想定し、国語科の単元との関連を例示した。同様に、特別活動の児童・生徒総会を言語能力の発揮場面と捉え、国語教育上重点となる活動として明示した。

次に、年間指導計画について述べる。小学校1年生から中学校3年生までの教材名を配列している。(光村図書の年間指導計画例を参考⁹⁾)また、小中一貫教育を行う広島県福山市立城北中学校の「カリキュラム・マップ」¹⁰⁾を参考に作成した。主な特徴を二つ述べる。

一つ目は、9年間の縦のつながりを意識したことである。各学年で重点的に育成する力は全体計画に示す資質・能力であり、考えの形成に関する指導事項を中心に設定した。

その上で、重点的に育成する力との関連が深い 単元を重点単元とした。教材名の隣に☆を付して いる。小学校1年生から中学校3年生までの国語 科を担当する教師が一貫して、育成する力を意識 して重点単元の学びをデザインすることが求められる。

二つ目は、各教科等との横のつながりを踏まえたことである。ふるさと科との関連が深いものには★を記した。例えば、6年生の2学期にはふるさと科で地域の特色や歴史を調査し、課題を発見して分析し、ふるさとの未来について考えて表現する学習が計画されている¹¹⁾。国語科では、「未来がよりよくあるために」という、ふるさとの未来作りをテーマにした意見文を書く単元がある。両者の学びは、内容の上でも資質・能力ベースでも関連が深い。ふるさと科の学びは、意見文を書く素材となる。調査して得た課題を踏まえて意見文を書くことで、書く活動もより目的的で必然性を持ったものとなる。二つの学びをつなげることで、国語科の学びがふるさと科を通して、社会に開かれた学びになるのである。

同様に、特別活動との関連が深い単元に◆を記した。5月と11月には児童・生徒総会が行われることが多い。そこで、国語科の話すこと・聞くこと領域の単元とのつながりを意識した指導を行いたい。国語科で高めた言語能力を総会で発揮したり、総会での言語活動を通して高めた言語能力を国語科の学びの中でさらに高めたりすることができるだろう。

その他の教科との関連についても、その具体を 意識して指導することが求められる。今回のカリ キュラム開発では、ふるさと科及び特別活動との 関連を中心に記したが、同じ言語を学習対象とす る外国語科や外国語活動との関連については、押 さえるべきである。

以上,モデルカリキュラムの特徴について述べた。小中一貫教育で育む重点となる資質・能力を 串として,小学校1年生から中学校3年生までの 学びを縦につなぎ,各教科等と国語科の学びを横 につないだところがカリキュラム開発上のポイン トである。このビジョンのもと国語教育を推進す ることが,めざす子供の育成のための国語科の役 割である。

(4) 課題

全体計画は、「沿岸」、「被災地」、「小中一貫校」 という想定で作成したが、この3つの要件が全体 計画のそれぞれの項目に十分に盛り込まれていな かった。特に、国語科指導に関わる項目について は、「沿岸」、「被災地」という面からのとらえが 弱かった。教科指導では、教科書中心の学習が基 本となるが、地域の学習材等を意図的に活用する ことで学校の特色を生かした学習活動が充実する と考える。

また、小中一貫教育で育む重点となる資質・能力の系統表に、ホップ・ステップ・ジャンプ期(4-3-2)という小中一貫の3期構成が反映されていない。これは、小学校学習指導要領に目標や内容等が低・中・高と2学年ごとに示されていることに加え、低・中をまとめたホップ期の資質・能力や小中をまたぐステップ期の資質・能力は、発達段階の差や小中の指導内容の違いから、実際の指導を考慮すると活用しづらいと考えた。しかし、これでは4-3-2制をとるモデル校の実態に応じた全体計画とはならない。教科指導と小中一貫校という二つの側面からより実用可能な系統表の作成をめざしたい。

指導と評価という点では、資質・能力の評価の 在り方が示されていないことも課題である。重点 の資質・能力の思考力・判断力・表現力等は評価 がより難しいので、どのように見取るか具体の手 立てを共有する必要がある。

(文責 藤森崇浩·町畑光明·浅沼美里·岡本優· 川戸悠)

国語教育全体計画

【教育関係法規、教育行政施策】

- ・日本国憲法 ・教育基本法
- · 学校教育法 · 学習指導要領
- ・岩手県学校教育指導指針・市町村教育大綱

【学校教育目標】 ふるさとを愛し、 よく考え、

【復興教育】

「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材」の育成のため、復興教育に関わる学習活動に言語活動を位置付け、 学習の基盤となる言語能力を高める。

【目指す子ども像 資質・能力】

心豊かにたくましく生きる子どもの育成

- ・進んで考え、他者と協力しながら、課題を解決できる子ども
- ・ふるさとに誇りをもち、互いに認め合い、自分のよさを伸ばそうとする子ども
- ・命を大切にし、心身を鍛え、ねばり強く取り組む子ども

【学校・家庭・地域の実態】

学校では、諸調査の目標正答率を全国・県 平均としている。9年間を買く授業スタイ ルとして間題提示・学で合い・振り返りを位 置づけた授業を行っている。子ども達の読 書量が少ないことも授業以外の課題であ る

家庭は学校の教育に関心が高く授業と家庭 学習の連動についての共通理解がある。地域では、町コミュニティ・スクール協議会を 通じた学力向上への結極的な協力がある。

【子どもの実態】

全国学力・学習状況調査の県の結果は、小学校では AB 問題ともに全国を上回っているが A 問題 の「読むこと」が+0.3%と最も差がない。中学校の B 問題では「話すこと・聞くこと」以外の領域が全国を僅かに下回っており、活用力に課題がある。町学力調査からも同様の課題が見られ、このことから、基本的な読む力や読み取ったことから自分の考えをもち、それを文字に起こして文章に表現することを苦手としていると考えられる。

【教師の願い】

国語教育の目標に迫 ることをとおして、各 教科等の学びを支える 言語能力を高めるとと もに、ふの復興・発展を 支える人材を国語教育 の側面から育成した い。

【本校の国語教育の重点目標(資質・能力)】

- ・語の性質や文の構成・展開、情報と情報の関係を理解し、文や文章の中で使うことができる。(知識・技能)
- ・<u>テクストや情報から理解したことをもとに、自分の思いや考えをもち、文章や発話により適切に表現することができる。</u> (思・判・寿筌)

(思・判・表

・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流する中で自分のものの見 方や考え方を深め、地域の復興発展を志向して生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとすることができる。 (学びに向からか・人間性等)

T. L. IL. W. -L. A. I. 3

【本校国語科の重点指導方針】

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、自分の思いや考えを適切に表現する資質・能力を育成する。
- ・課題解決的な言語活動の充実を図る。学んだことが、他教科の学びとつながっていることや社会で生かされることを実感でき ストうか課題診定を下去する
- ・1 単位時間の中に、自分の考えを表現する活動を位置付けて継続的に指導することで、考えを形成し、表現する力を高める。
- ・ものの見方や考え方を広げ深める学び合いを工夫する。学び合いの中で、自分の考えを表現することを通して、相手意識を持って書いたり、話したりする態度を養う。
- ・自分の考えや思いを適切に表現することができたか、学習者が学びを自覚することができる指導と評価を工夫する。

【家庭や地域等との連携・評価】

町コミュニティ・スクール協議会を中心に学校・保護 者・地域の代表者による「めざす子ども像」を作成し連携 を図っている。また、連携の具体的な目標を「家庭学習・ 読書」とし取り組んでいる。

同協議会内の評価検証委員会で「すすんで学ぶ人」に関わるそれぞれの取組への評価・改善を行っている。

【校種間連携の取組】

幼保:幼保職員のための小1の授業参観

年長児と小1の交流学習(言葉遊び)

生活発表会と学習発表会への共催 就学時検診

- 高校:中高相互の授業参観(導観の共有)
 - →国語科の資質能力に関わる単元
 - 卒業生による中3への学習アドバイス

【国語教育の推進計画】

- 4月:昨年度の諸調査結果(全体&個人)の再確認(校内研)
- 国語科の指導方針の共通確認 (学団ごと)
- 5月:授業と家庭学習連動の検討(学団ごと)
- 6月:全国学調の問題及び結果分析(校内研)
- 7月:夏休みの課題及び定着授業の共通確認(学団ごと)
- 8月:夏休みの課題の取組状況及び
- 休み明けテストの事後指導(学団ごと) 10月: 県学調の問題及び結果分析(校内研)
- 12月:冬休みの課題及び定着授業の共通確認 (学団ごと)
- 1月:冬休みの課題の取組状況及び
- 休み明けテストの事後指導(学団ごと)
- 2月: 当該学年の学習内容の定着の取組(校内研)
- 3月:次年度の全体計画、年間指導計画の作成

図表 2

【小中一貫教育で育む重点となる資質・能力の系統表】

【幼稚園】

豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになった姿

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
低学年	文の中における主語と述語の 関係に気づき、共通、相違、事柄 の順序について理解し、文や文章 の中で使うことができる。	文章の内容と自分の体験とを結び つけて感想をもち、語と語や文と文 との続き方に注意しながら、内容の まとまりが分かるように書き表し方 を工夫することができる。	・国語を通じて、自分のものの見方、考 え方を深めようとするとともに、考え を伝え合うことで、集団の考えを発展 させようとする態度。 ・様々な事象に触れたり体験したりして
中学年	指示する語句と接続する語句、 段落の役割について理解し、考え と理由や事例、全体と中心の関係 を捉え、文や文章の中で使うこと ができる。	文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、それを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。	感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通じて、心を豊かにしようとする態度。 - 言葉には、自分の伝えたいことが正しく伝わらなかったり、相手を傷つけた
高学年	文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の構成と展開、話や文章の種類とその特徴について理解し、原因と結果の関係を捉え、文や文章の中で使うことができる。	文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように構成や表現の仕方を工夫することができる。	へなわらなかったり、他子を誇づかたりする場合があることを認識した上で、言葉が持つ力を信頼し、国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重
中学校	文の成分の順序や照応など文 の構成について理解するととも に、話や文章の構成や展開、原因 と結果の関係を捉え、文や文章の 中で使うことができる。	文章を読んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、自分の考えを分かりやすく伝えたり相手を説得したりできるように構成や表現の仕方を工夫することができる。	しようとする態度。 ・自ら進んで読書をし、読書を通して、知らないことを知ったり、経験のないことを体験したり、新しい考えに触れたりするなどして人生を豊かにしようとする態度。

高校】

- **麺** 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 思生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯 にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

各教科等の言語活動を通して言語能力を高める



各教科等の学びの中で言語能力を発揮

【各 教 科】

国語教育を中心として育成する言語 能力を各教科の学びの中で活かすとと もに、各教科の学習で行う言語活動の充 実を通して、言語能力のさらなる高まり をはかる。特にも、情報を理解したこと をもとに自分の考えを形成し、表現をす る言語活動を各教科で充実させる。

【道徳教育】

教材や体験、仲間や自己との対話を もとに、自己を見つめ、物事を広い視 野から多面的・多角的に考え、生き方 についての考えたことを表現すること ができる。

【ふるさと科】

【目標】ふるさとへの愛着を育むとともに、ふるさとの復興発展に向けて自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動しようとする実践的な態度を育てる。

【国語科教育との関連】国語教育で育んだ言語能力や情報活用能力を活用し、探 求的な学習活動の充実を目指す。また、ふるさと科で行った体験活動を国語科で 取り組む言語活動の素材として活用し、学習の深まりを生み出すことを目指す。 例6年「ふるさとの歴史、ふるさとの未来」と園「未来がよりよくあるために」 中3年「修学旅行特産品宣伝活動」と園「相手や目的に応じたスピーチをする」

【特別活動】

学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図る過程で、国 語教育で培った言語能力を発揮する。また、特別活動で行った活動を国語科で取り 組む言語活動の素材として活用し、学習の深まりを目指す。

【重点となる活動】5月・11月の児童生徒総会

PLAN 全体計画

全体計画 年間指導計画 国語教育推進 全体計画 加筆・修正

DO

CHECK

アンケート・調査 生徒・教師 (学期) 地域・保護者 (年間) ACTION 国語教育の指導改善

	◆ 児童・生徒総会		4 🗆						7 🗆	1	0.0	1	10 🗆	_	11 🗆		10 🗆		1 🗆		20		2 🗆
年	各学年で重点的に育成する力	=	4月	=	5月	=	6月	=	7月	=	9月	=	10月	=	11月	+	12月	+	1月	+	2月		3月
1	 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内室のまとまりが分かるよう 	里	教材名 あさなんていおうかなとんなれていおけなしかなどうでよろしくこえのおおきさ、どうするの。うたにあわせてあいうえおことばをつくろう	重	教材名 えをみてはなそう かきとかぎ あさのおひさま はなのみち ぶんをつくろう ねことねっこ わけをはなそう	重 * *	教材名 おばさんとおばあさん くちばし おもちやとおもちゃ おもいだしてはなそう あいうえおであそぼう おおきくなった おむすびころりん たからものをおしえよ う	重 *	数材名 はをへをつかおう すきなこと、なあに おおきなかぶ ほんはともだち こんなことをしたよ	重 *	教材名 いちねんせいのうた なつやすみのことをは なそう ひらがなあつまれ ゆうやけ かたかなをみつけよう うみのかくれんば かずとかんじ	重 *	教材名 くじらぐも しらせたいな、見せた いな	重 ☆	教材名 まちがいをなおそう かん字のはなし ことばを見つけよう じどう車くらべ	重	教材名 かたかなをかこうしまかいないりょうしまかしばなしがいっぱいいともだったいいりょうしまかしばなしがいっぱいともだちに、きいてみよう日本をえらんでよもう者をえらんでよもうすぎっと、大ききだよ	重	教材名 てんとうむし ものの名まえ かたかなのかたち てがみでしらせよう たぬきの糸車	重	教材名 ことばをたのしもう これは、なんでしょう どうぶつの赤ちゃん にているかんす	重 *	教材名 だってだってのおば、さん いいこといっぱい、・ 年生
2	に書き表し方を工夫すること (Bゥ) 文章の内容と自分の体験とを結びつ けて、感想をもつこと。(Cオ)	¥	じゅんばんにならぼう ふきのとう 春がいっぱい 今週のニュース	str.	たんぽぽのちえ かん字のひろば① かんさつ名人になろう	☆	いなばの白うさぎ かたかなのひろば ともこさんはどこかな 同じぶぶんをもつかん 字 スイミー かん字のひろば②	×	こんなもの、見つけたよ うれしいことば お話クイズをしよう ミリーのすできなぼうし かん字のひろば③ 夏がいっぱい	1/2	おおきくなあれ 大寸きなもの、教えたい カンジーはかせの大は つめい ことばあそびをしよう どうぶつ園のじゅうい	ŵ	お手紙 主路と述語 かん字の読み方 秋がいっぱい お話のさくしゃになろ う	¥	かたかなで書くことば しかけカードの作り方 おもちゃの作り方 あったらいいな、こん なもの	ŵ	にたいみのことば、は んたいのいみのことば わたしはおねえさん かん字の広場④ 冬がいっぱい	\$ \$	てのひらを太陽に ようすをあらわすこと ば 見たこと、かんじたこ と 三まいのおふだ おにごっこ	*	かん字の広場⑤ みんなできめよう なかまのことばとかん 字 スーホの白い馬	±	ことばを楽しもう 楽しかったよ、二年
3	・自分の考えとそれを支える理由や事 例との関係を明確にして、書き表し方		よく聞いて、じこしょ うかい どきん きつつきの商売 国語辞典のつかい方 漢字の音と訓 春の楽しみ	\$\phi\$	よい聞き手になろう きちんとつたえるため にこそあど言葉 漢字の広遊ぼう こまを楽しむう		気になる記号 符号など 漢字の広場 たのきゅう 夏の楽しみ	☆ ☆	もうすぐ雨に 「ありがとう」を伝えよう 漢字の広場 本を使って調べよう 里山は、未来の風景		わたしと小鳥と鈴と 山のてっぺん ったえよう,楽しい学 校生店 インタゼュー へんとつくり	±	ローマ字 ちいちゃんのかげおく り 漢字の広場 修飾語 秋の楽しみ	**	すがたをかえる大豆 絵や写真を使ってせつ めいする 食べ物のひみつを教え ます 短歌を楽しもう 漢字の意味	\$	三年とうげ たから島のぼうけん 漢字の広場 言葉を分類する 冬の楽しみ	ŵ	雪 ゆき 雪 ありの行列 しりょうから分かる。 小学生のこと 見せながら話すときに は		コンピュータのローマ 字入力 カンジーはかせの音訓 かると よう	*	漢字の広場 モチモチの木 わたしの三大ニュー
4	を工夫すること。 Bウ・・文章を踏んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 cオ	*	ばらばら言葉を聞き取 あううた 白いぼうし 漢字の組み立て 漢字の組み立て 漢字の組み 養の使い方 春の風景	☆	よりよい話し合いをし よう 話す言葉は同じでも 大きな力を出す 動いて、考えて、また 演字の広場 短歌・俳句に親しもう	4 44	新聞を作ろう アンケート調査のしか た 新聞にのせる写真や図 などを選ぶときには いろいろな意味をもつ 言葉 ふるやのもり	4	一つの花 夏の風景 自分の考えをつたえるに は 漢字の広場 「読むこと」について考 えよう かげ 読みたい本の見つけ方	☆	忘れ物 ぼくは川 カンジーはかせの漢字 しりとり だれもが関わり合える ように 手と心で跳む	☆	漢字の広場 ごんぎつね 秋の風景	*	慣用句 アップとルーズで伝える 言葉で変わる写真の印象 「クラブ活動リーフ レット」を作ろう	ŵ	短歌・俳句に親しもう ブラタナスの木 漢字の広場 文と文をつなぐ言葉	\$	のはらうた 野原に集まれ 冬の風景 ウナギのなぞを追って 漢字の広場	*	聞き取りメモの工夫 熱語の意味 わたしの研究レポート	4	まちがえやすい漢字 初雪のふる日 漢字の広場 十年後のわたしへ
5	・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の 構成を考える力。44 ・目的や意図に応じて簡単に書いたり 詳しく書いたりするともに、事実と 感想、意見とを区別して書いたりする	×	教えて、あなたのこと ふるさと/あめ玉 なまえつけてよ 漢字の広場①	rk	春の空 新聞を読もう 漢字の成り立ち 見立てる/生き物は円 柱形	☆	漢字の広場② 古典の世界(一) きいて、きいて、きい てみよう 敬語 千年の釘にいどむ	ŵ	漢字の広場③ 夏の夜 次への一歩一活動報告書 からたちの花 カンジー博士の暗号難解	☆	日常を十七音で 和語・漢語・外来語 明日をつくるわたした ち 漢字の読みと使い方		大造じいさんとガン 漢字の広場 秋の夕暮れ	☆	天気を予想する グラフや表を用いて書 こう 同じ読み方の漢字	ŵ	百年後のふるさとを守る 古典の世界(二) 分かりやすく伝える 詩の楽しみ方を見つけ よう	4:	想像力のスイッチを入 れよう 漢字の広場⑤ 見るなのざしき	A	すいせんします 複合語 冬の朝 わらぐつの中の神様	¢	一枚の写真から 漢字の広場⑥ 六年生になったら
6	など、自分の考えが伝わるように書き など、自分の考えが伝わるように書き 表し方を工夫すること。Bウ ・文章を読んで理解したことに基づい て、自分の考えをまとめること。Cオ		つないで、つないで、 一つのお話 支度 漢字の広場① 春のいぶき	±	笑うから楽しい/時計 の時間と心の時間 学級討論会をしよう カレーライス 漢字の形と音・意味	☆	私と本/森へ 漢字の広場② 河鹿の屏風 夏のさかり	☆	ようこそ、わたしたちの 町へ せんねん まんねん 熟語の成り立ち たのしみは	☆	漢字の広場③ 未来がよりよくあるために 生活の中の言葉 日本で使う文字	A A	やまなし 漢字の広場① 秋の深まり 『鳥獣戯画』を読む この絵、私はこう見る		漢字を正しく使えるように らに 伝えられてきたもの 日本で使う漢字 漢字の広場⑤		表現を選ぶ 天地の文 未知へ カンジー博士の山登り	tr tr	自然に学ぶ暮らし 漢字の広場⑥ 海の命 春を待つ冬	44	生き物はつながりの中に に かなえられた願い 今、私は、ぼくは 忘れられない言葉	¢	中学校へつなげよう 生きる
1	・自分の考えや根拠が明確になるよう に、話の中心的な部分と付加的な部 分、事実と密見との関係などに注意して、話の構成を考える力、Aイ ・根拠を明底しながら、自分の考え が伝わる文章になるように工失する 力、Bウ ・文章を選んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする 力。Cオ	12	野原はうたう 声を届ける/書き留め る/調べる/続けてみよ う		花曇りの向こう 季節のしおり 春 わかりやすく説明しよ う 観点を立てて書く 関情級を正確に聞き取る 演字の組み立てと部首		ダイコンは大きな根って ちょコンと立ち止まかたを 連習 記する エ大すさなもの」を紹介 しよう 情報の集め方を知ろう 話し言葉と書き言葉	*	詩の世界 詩を書こう 言葉を集めよう 空を見上げて 文法への解引 私が適んだこの一冊 本が世界を広げよう 本との出会い 季節のしおり 夏	*	星の花が降るころに 大人になれなかった弟 たちに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·	調べたことを報告しよ 資字2 漢字の音測 言葉2 指示する語句 を接続する語句 を描したおり がいるは歌 月に思う 蓬莱の玉の枝	\$\phi\$ \$\phi\$ \$\phi\$ \$\phi\$	今に生きる言葉 幻の魚は生きていた 根拠を明確にして書 う 護習 一合 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	*	練習する 感じたことを整理技術を保護して魅力を伝えよう 鑑賞を表する 鑑賞を書く 竹竹文法でき書く 竹文法で記される 報等三代、読書案内 季節のしおり	Ŷ	少年の日の思い出 別の人物の抱点で書こう うさまざまな表現技法 漢字の成り立ち 都道所県名に用いる漢 字	4	印象深く思いを伝えよう う 文法への雇 3 1年間の学びを振り返 ろう		ぼくがここに
2	・自分の立場や考えが明確になるように、抵拠の適切さや強縮の展開かどれ、 注意して、語の機能を工実するが ・根拠の適切さを考えて説明や具体例 を加えたり、表現の効果を考えて説明でよりながまたり、表現の効果を考えに加す 文章になるように工実する力、Bウ ・文章を表からで開発したことを考えた。ことを知識や経験と語かっけ、自分の 考えを広げたり環めたりする力、Cオ		見えないだけ アイスプラネット 練習 要点を整理して 閉き取る 季節のしおり 春	*	枕草子自分流枕草子 多様な方法で情報を集 めよう 漢字1 熟語の構成		生物が記録する科学 ーバイオロギングの可能性 能性 説明のしかたを 動力的な提案をしようさ メディアと上手に付き 含素1 類義語・対義語・対義語・多義語	ŵ	新しい短歌のために 短歌を味むう 音楽を比べよう 音楽の力 文法の解1 波書生活を豊かに		盆土産 字のない業書 練習 推敲して適切な 文章に直す 気持ちを込めて書こう	*	モアルマイは語る 一地東2 地東2 東京・2 季節のしおり 秋 傾句を作ろう 平家物語 扇の的	ŵ	仁和寺に弘師 で表述師 で表述が、 では「最後の晩餐」を は「最後の晩餐」を はしっているか、 神密 相発言する。 を踏まえて合って考えを広げ よう	4	練習 えない を かっと	☆	走れメロス 文法への原 表現のしかたを工夫し て書こう 「ある目の自分」の物 語を書く		科学はあなたの中にある る 漢字3 送り仮名 漢字の練習 都道府県 名に用いる漢字	t	1年間の学びを振り ろう 国語学習の報告書を とめる 鍵
3	・自分の立場や考えを明確にし、相手 を納得できるように論確の展開などを 考えて、話の構成を工夫する力。4イ ・表現の仕力を考えたり資料を適切 別用したりするなど。自分の考えが分 かりやすく伝わる文庫になるよう。 夫する力、Bウ ・文章を膨んで考えを広げたり深めた りして、人間、社会、自然などについ て、自分のを見るもつ力。にて、	¢	春に 握手 学びて時にこれを習 ふー「論語」から	str.	練習 評価しながら聞く く 社会との関わりを伝え よう 相手や目的に応じたス ビーチをする 漢字1 熟語の読み方	¢	月の起源を探る 練習 文章の形態を選 んで書く 魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する 「想いのリレー」に加 わろう 言葉1	**	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 「批評」の言葉をためる 文法への罪1 読書生活を豊かに	¥	挟拶一原嫌の写真によせて 位式 故郷 維敵して文章を整 えるの社説を比較して 論もう 論理の展開を工夫して 書こう	¥	言葉2 漢字2 古今和歌集仮名序 君待つと一万葉・古 今・新古今 夏草」「おくのほそ 道」から 古典を心の中に	ŵ	作られた「物語」を超 えて 練習 話合いを効果的 に進める 話し合って提案をまと めよう 観点を立てて分 析する	Ŕ	学師のにおり マ 歌得力のある文章を書 こう 批評文を書く 初恋 文法への原 2 読書に親しむ	Ŕ	誰かの代わりに		わたしを束ねないで 漢字3 漢字のまとめ	*	三年間の歩みを振り ろう 学びについて語ろう

国語科年間指導計画

A:話すこと・聞くこと B:書くこと C:読むこと ☆重点単元 ★ふるさと科 ◆ 特活 (児童・生徒総会)

	A:話すこと・聞くこと	B:∄	書くこと C:読む	12		元	★ふるさと科	♦	特活(児童・生徒総				
学年	各学年で重点的に育成する力	_	4月	_	5月	_	6月		7月	_	8・9月		
		重	教材名	重	教材名 えをみてはなそう	重	教材名 おばさんとおばあさん	重	教材名はをへをつかおう	重	教材名 いちねんせいのうた		
1	Cオ:文章の内容と自分の体験とを 結び付けて、感想をもつ力 Bウ:語と語や文との続き方に 注意しながら、内容のまとま	*	なんていおうかな どんなおはなしかな どうぞよろしく こえのおおきさ、どう するの ことはをつくろう ととなるもせてあいう えお ことはをつくろう を学校大野に 女だ5100人大作戦		たかきないない。 かきとかおひさま はなのみちら ぶんをつくろう ねことねっこ わけをはなそう	φ φ	くちばし おもちゃ おもちゃ おもいだしてはなそう あいうえおであそぼう おおきくなった おおすびころりん たからものをおしえよう	☆☆	すきなと、なあに おおをなかぶ ほんはともだち こんなことをしたよ	☆	なっやすみのことをはな そう いらがなあつまれ ゆうやけ かたかなをみつけよう うみのかくれんぽ かずとかんじ		
2	りが分かるように書き表し方 を工夫する力	☆	じゅんばんにならぼう ふきのとう 春がいっぱい 今週のニュース	☆	たんぽぽのちえ かん字のひろぱ① かんさつ名人になろう	☆	いなばの白うさぎ かたかなのひろば ともこさんはどこかな 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば②	☆	こんなもの、見つけたようれしいことば、 うれしいことば、 お話クイズをしよう ミリーのすてきなぼうし かん字のひろば③ 夏がいっぱい	☆	おおきくなあれ 大寸きなもの、教えたい カンジーはかせの大はつ めい ことばあそびをしよう どうぶつ園のじゅうい		
3	Cオ:文章を読んで理解したことに 基づいて、感想や考えをもつ 力 Bウ:自分の考えとそれを支える理		よく開いて、じこしょ うかい どさん とさん きつつきの商売 国語辞典のつかい方 漢字の音と訓 春の楽しみ	*	よい聞き手になろう きちんとつたえるため にこそあど言葉 漢字楽で放場 言葉を楽しむ 俳句を楽しもう	*	気になる記号 符号など 漢字の広場 たのきゅう 夏の楽しみ ★たんけん、発見!町の人	☆☆	もうすぐ間に 「ありがとう」を伝えよ う漢字の広場 本を使って調べよう 里山は、未来の風景 本の分類表		わたしと小鳥と鈴と 山のてっぺん つたえよう, 楽しい学校 生活 インタビュー へんとつくり		
4	由や事例との関係を明確にして、書き表し力を工夫する力	☆	ばらばら言葉を聞き取 ろう ろうた 自いぼうし 漢字の組み立て 漢字辞典の使い方 春の風景	♦♦♦♦	よりよい話し合いをし よう 話す言葉は同じでも 大きな力を出す 動いて、考えて、また 動く 短歌・俳句に親しもう	\$\dagger\$ \$\dagger\$\$ \$\dagger\$\$	新聞を作ろう アンケート調査のしかた 新聞にのせる写真や図な どを選ぶときには いろいろな意味をもつ言 葉 ふるやのもり ★できることからはじめよう	公公	一つの花 夏の風景 自分の考えをつたえるに は 漢字の広場 「読むこと」について考 えよう かげ 読みたい本の見つけ方	☆	忘れ物 ぼくは川 カンジーはかせの漢字し りとり だれもが関わり合えるよ うに 手と心で読む		
5	Cオ:文章を読んで理解したことに 基づいて、自分の考えをまと める力 Aイ:話の内容が明確になるよう に、事実と感想、意見とを区 別するなど、話の構成を考え	☆	教えて、あなたのこと ふるさと/あめ玉 なまえつけてよ 漢字の広場①	☆	春の空 新聞を読もう 漢字の成り立ち 関立てる/生き物は円柱 形	☆	漢字の広場② 古典の世界(一) きいて、きいて、きいて みよう 敬語 千年の釘にいどむ	☆	漢字の広場③ 夏の夜 次への一歩一活動報告書 からたちの花 カンジー博士の暗号難解 ★大切な命、宿泊体験	ŵ	日常を十七音で 和語・漢語・外来語 明日をつくるわたしたち 漢字の読みと使い方		
6	る力 Bウ:目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し力を工夫する力		つないで、つないで、 一つのお話 支度 漢字の広場① 春のいぶき	☆ ◆	笑うから楽しい/時計の 時間と心の時間 学級計論会をしよう カレーライス 漢字の形と音・意味	☆	私と本/森へ 漢字の広場② 河鹿の屛風 夏のさかり	☆★	ようこそ、わたしたちの 町へ せんねん まんねん 熟語の成り立ち たのしみは	☆★	漢字の広場③ 未来がよりよくあるため に 生活の中の言葉 日本で使う文字・ ★ふるさとの歴史・未来		
1	Cオ:文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力。 Aイ:自分の考えを確かなものにする方。 Aイ:自分の考えや秩拠が明確になるように、語の中心的な部分。 を持加的な部分、事実と意見との関係などに注意に、話の構成を考える力。 Bウ: 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるようにエ夫する力	☆	野原はうたう 声を届ける/書き留める /調べる/続けてみよう	•	花曇りの向こう 季かかりやすく説明しよう もかりやすく説明しよう 観点を立てて書く 情報を正確に聞き取る 漢字の組み立てと部首	☆★	ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって 練習 記録のしかたを工 夫する 「好きなもの」を紹介し 情報の集め方を知ろう 話し言葉と書き言葉		詩の世界 詩を書こう 言葉を集めよう 空を見上げて 文法・の扉 I 大名地平線 私が選んだこの一冊 本の世界を広げよう 本との出会い 季節のしおり 夏	☆	星の花が降るころに 大人になれなかった弟た ちに・・・・ 言葉 方言と共通語 検習 わかりやすい案内 文を書く シカの「落ち穂拾い」		
2	Cオ: 文章を読んで理解したことや 考えたことを知識や経験と結 び付け、自分の考えを広げた り深めたりする力。 Aイ:自分の世や考えが明確にな るように、根拠の適切さや論 理の展開などに注意して、話 の構成をエ天する力。 身体機の適切さを考えて、説明や 具体制造が加えたり、表現の効 果を考えて描写したりするな ど、自分の考えが伝わる文章 になるように工夫する力		見えないだけ アネット 味習 要点を整理して 関き取る 季節のしおり 春		枕草子自分流枕草子 多様な力法で情報を集 めよう 漢字1 熟語の構成	☆★	生物が記録する科学 ーバイオロギングの可能 性練習 説明のしかたを工 夫する 魅力的な提案をしよう メディアと上手に付き合 うために 類義語・対義 語・多義語 ★特産品販売活動 (9月)	☆	新しい短歌のために 短歌を味わう 言葉を比べよう 言葉の力 文法の原 1 読書生活を豊かに		盆土産 手のない業書 練習 推厳して適切な文 章に直す 気持ちを込めて書こう		
3	Cエ: 文章を読んで考えを広げたり 深めたりして、人間、社会、 自然などについて、自分の意 見をもつな場や考えを明確に し、相手お納得できるうに 論理の展開などを考えて、話 の構成を工夫する力 第一、第一、第一、第一、第一、第一、第一 適切に引用したりするなよ 自分の考えが分かりやすく伝 わる文章になるように工夫す る力	☆ ☆ ★◆	春に 握手 掘・ は会との関わりを考え よう 相手や目的に応じたス ピーチをする		学び手時にこれを習 ふー「論語」から 读字1 熟語の読み方	☆ ★	月の起源を探る 練習 文章 形態を選ん で書く 魅力的な紙面を作うう 修学旅行記を編集する 「想いのリレー」に加わ ろう 言葉 1	☆	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 「批評」の言葉をためる 文法への扉1 読書生活を豊かに	☆	接渉―原爆の写真によせ て 故郷 練習推敲して文章を整え る 新聞の社説を比較して訪 もう 島理の展開を工夫して書 こう		

国語科年間指導計画

A:話すこと・聞くこと B:書くこと C:読むこと \Diamond 重点単元 \bigstar ふるさと科 \spadesuit 特活(児童・生徒総会)

	A:話すこと・聞くこと	D.	ぼくこと C:読	,	~ ~ =	点里:	元 ★ふるさと	- 111	▼ 197H (70		生徒総会)		
24.4-	カヴケマチ L 切し方式 ナフト		10月		11月		12月		1月		2月		3月
学年	各学年で重点的に育成する力	重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名
1	Cオ:文章の内容と自分の体験とを 結び付けて、感想をもつ力 Bウ:語と語や文ととの続き方に	文	(水) (力) (マピラぐも) しらせたいな、見せたいな 見せたいな (見せたいな) (本学校と周辺探検) (本学校と周辺探検) (オール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	± ☆	(取) 付 まちがいをなおそ まちがいをなおと かん字のはなし ことばを見つけよ う じどう車くらべ	±	(別代日) かたかなをかこう まのいいりょうし まかしばなりにがいっ はがいだちに、きい ともようし まがりとよう日 日づけとらんずもっ と、大すきっ と、大すきよっ	± ☆	教物 台 てんとうむし ものの名まえ かたかなのかたち てがみでしらせよ う たぬきの糸車	里	教行台 ことばをたのし もう これはう にしょうづつの赤 ちゃん にているかん字	±	教代右 だってだってのお ばあさん いいこといっぱ い、一年生
2	注意しながら、内容のまとま りが分かるように書き表し方 を工夫する力	☆	土部と述語 主語と述語 かん字の読み方 秋がいっぱい お話のさくしゃにな ろう	☆	かたかなで書くこ とば しかけカードの作 り方 おもちゃの作り方 あったらいいな、 こんなもの	☆	にたいみのことば、 はんたいのいみのこ とば わたしはおねえさん かん字の広場④ 冬がいっぱい	☆☆	てのひらを太陽に ようすをあらわす ことば 見たこと、かんじ たこと、かんじ たことまいのおふだ おにごっこ 民話	☆	かん字の広場⑤ みんなできめよ うなかまのことば とかん字 スーホの白い馬	☆	ことばを楽しもう 楽しかったよ、二 年生
3	Cオ:文章を読んで理解したことに 基づいて、感想や考えをもつ 力 Bヴ:自分の考えとそれを支える理	☆	ローマ字 ちいちゃんのかげお くり 漢字の広場 修飾語 秋の楽しみ		すがたをかえる大 豆 絵や写真を使って せかいする 働くないする 類えます 短歌を楽しもう 漢字の意味 たんけん、発見!町の人	☆	三年とうげ たから島のぼうけん 漢字の広場 言葉を分類する 冬の楽しみ ★たんけん、発見!町 の人	☆	ゆき ありの行列 しりょうから分か る、小学生のこと 見せながら話すと きには		コンピュータの ローマ字入力 カンジーはかせ の音測かるた ことわざについ て調べよう	*	漢字の広場 モチモチの木 わたしのまちの三 大ニュース んけん、発見!町の人
4	由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力	☆	漢字の広場 ごんぎつね 秋の風景	* * *	慣用句 アップとルーズで 伝える 言解印象 「クラブ活動リー フレット」を作ろ う	☆	短歌・俳句に親しも う ブラタナスの木 漢字の広場 文と文をつなぐ言葉	☆	のはらうた 野原に集まれ 冬の風景 ウナギのなぞを 追って 漢字の広場	☆	開き取りメモの 工夫 熟語の意味 わたしの研究レ ポート	☆ ☆★ ★2分	まちがえやすい漢 字 初雪のふる日 漢字の広場 十年後のわたしへ
5	Cオ:文章を読んで理解したことに 基づいて、自分の考えをまと める力 Aイ:話の内容が明確になるよう に、事実と感想、意見とを区 別するなど、話の構成を考え		大造じいさんとガン 漢字の広場 秋の夕暮れ	ά★	天気を予想する グランや表を用い て書こう 同じ読み方の漢字 ★大切な命 鮭の学習	☆	百年後のふるさとを 守る 古典の世界(二) 分かりやすく伝える 詩の楽しみ方を見つ けよう	☆	想像力のスイッチ を入れよう 漢字の広場⑤ 見るなのざしき	☆	すいせんします 複合語 冬の朝 わらぐつの中の 神様	❖	一枚の写真から 漢字の広場⑥ 六年生になったら
6	る力 Bウ:目的や意図に応じて簡単に書いたり許るとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し力を工夫する力	☆☆	やまなし 漢字の広場④ 秋の深まり 『鳥獣戯 私はこう見 る		漢字を正しく使え るように のようられてきたも の本で使う漢字 漢字の広場⑤		表現を選ぶ 天地の文 未知へ カンジー博士の山登 り	☆	自然に学ぶ暮らし 漢字の広場⑥ 海の命 春を待つ冬	☆★	生き物はつながりの中にかなえられた願い今、私は、ぼったれない言葉 ★歩きだそう未来へ	*	中学校へつなげよ う 生きる
1	Cオ:文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力。 4イ:自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分。 と行加的な部分。事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考える力。 Bウ:根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力		調べたことを報告 はます。 はます。 はます。 はます。 はます。 はまずいます。 とまずいます。 とまずいます。 とまずいます。 とまずいます。 とまずいます。 とまする。 とまずいます。 とまずい。 とまする。 とます。 とまする。 とます。 とます。 ともももももももももももももももももももももももももももももももももももも	☆ ☆ ☆ ☆ ◆	今に生きる言葉 幻の魚は生きそでい た 根拠を明確にして 書きこう 流れを踏ま えて話し合うを があるが がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。	☆	練習 感じたことを 整理する 様性を明確にして魅 力を伝えよう 壁竹文法の 様 でする 様 でする を 等 で を 等 で を 等 で を き 、 を 等 文 を 書 く で う に り え に り え に り え に り え に う に り え に う に う に う に う に う に う し 、 と う に う に う と う と う と う と う と う と う と う	☆	少年の日の思い出 別の人物の視点で 書こう さまざまな表現技 法漢字の成り立ち 都道府県名に用い る漢字	☆	印象深く思いを 伝えよう 文法への扉3 1年間の学びを振 り返ろう		ぼくがここに
2	Cオ:文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の当えを広げたり音次のよりする方。 Aイ:自分の立場や考えが明確になるように、供拠の適切さや論 理の展開とどに注意して、話の構成 生工夫する力。 Bウ: 根拠の適切さを考えて説明の発展・例を加えたり、表現のると、表現のると、表現のると、まりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力	\$	モー地業・2 ・ 一言漢・本・2 ・ 一言漢・本・3 ・ 一言漢 本・3 ・ 一言漢 本 一言章 本	❖❖❖	仁和寺に敷を 環時的風景の晩いる は、最後の晩いる が練習を を もれた を もれた を もれた を もれた を もれた を る の の の の の の の の の の の の の る る の の ら る る っ る る る る る え る る る え る る え る る る る	☆	練習 意見文の設得 力を考える 力を考えることで 見を集にして を集に からない。 がよったの所のラジオー ではいる。 がよったのののラジオー 説書、第一本の世界 を を を を を を を を の し の し と の に り を ま と の に り と 等 と に と に と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、	☆	走れメロス 支法への扉 支法への扉 表現のしかたを工 夫「ある日の自分」 の物語を書く		科学はあなたの 中におる 送り 毎年 会 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日	₹	1年間の学びを振 り返ろう 国語学習の報告書 をまとめる 鍵
3	 ○ 工: 文章を儲んで考えを広げたり 資物とりして、人間、社会、 自然などについて、自分の意 見をもつ力 ▲イ: 自分の立場や考えを明確にし、相手を納得できるよう、話 ・ 相手を納得できるよう、話 の構成を工夫する力 Bウ: 表現の仕力を考えたり資料を 適切に引えが分かりやすくだった。 自分の考えが分かりやすくだった。 もる文章になるように工夫する力 	☆	言葉2 漢字2 漢古学のと一万葉・古 君子・新古今 夏道」から 古典を心の中に		作られた「物語」 を超習 に進める 経習 に進める 話し合っようを 東的しまさを 東で分析する 本町中学生会議	☆	設得力のある文章を書こう 書こう 批評文を書く 初恋 文法・の属2 読書に親しむ	☆	誰かの代わりに		わたしを東ねないで いで 漢字3 漢字の まとめ	☆	三年間の歩みを振 り返ろう 学びについて語ろう

2 算数・数学について

(1) 現状

平成29年度岩手県学習定着度状況調査の結果¹²⁾から、モデル校では小学校算数、中学校数学ともに県平均を下回っている。小学校算数はその差は小さくなっているが、「量と測定」の領域では、県の正答率と比較して10ポイント以上ひらきがあり、課題が顕著である。中学校数学では、7年生から8年生に学年が上がると、県平均との差が小さくなるが、依然として5ポイントほど下回っているのが現状である。

また、平成30年度岩手県学習定着度状況調査の結果¹³⁾から、岩手県全体の傾向として小学校・中学校ともに「図形」領域における正答率が低く、「数学的な考え方」に課題が見られる。本カリキュラムは、モデル校のみならず岩手県全体の算数・数学科における児童・生徒の実態をもとに作成したものである。

(2) カリキュラム開発の視点

本カリキュラムを開発するにあたっては、学習指導要領(平成29年告示)改訂の基本方針である「育成を目指す資質・能力の明確化」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」「カリキュラム・マネジメントの推進」^{14) 15)}を踏まえながら、岩手県沿岸部の被災地域にある小中一貫校をモデルとして作成した。¹⁶⁾

具体的には、幼児期からの資質・能力のつながりと、9年生修了時のゴールの姿を具体的に想定し、各学年で育成したい資質・能力を3つの柱に基づいて示すこととした。また、算数・数学科における児童・生徒の実態から、育成を目指す資質・能力や、領域、数学的活動において重点を明らかにすることとした。さらに、ふるさと科との関連においては、「他者とかかわる力」を育成する「協働的な学び」を推進したり、地域に目を向け、児童・生徒の学習意欲を高める地域教材の開発を行ったりしていくこととした。

(3) モデルカリキュラムの提案とその特質

全体計画の特質は4点ある。1点目は,今年度 の重点を教職員全体で共有するために,算数・数 学科の指導方針として、重点的に育成を目指す資質・能力や領域について明記した点である。 2点目は、ふるさと科との関連を明記することで、復興教育のねらいや教科横断的な視点を意識して教科指導ができるようにした点である。 3点目は、推進体制に教職員の役割を明確にしたことで、課題を解決するために誰が何をすれば良いかが分かるようにした点である。 4点目は、9年生修了時のゴールの姿を設定し、算数・数学教育で目指す子どもの姿を、思考力・判断力・表現力等について重点に即して明確にした点である。

年間計画^{17) 18)} の特質は2点ある。1点目は、課題である「図形領域」と「思考力・判断力・表現力等」に関しての重点を記し、活用しやすくしている点である。2点目は、9年間の系統性を意識して指導できるよう、領域ごとに印をつけ活用しやすくしている点である。なお、年間指導計画については年度当初の段階で作成したものであるが、実際の指導を踏まえながら年度途中で改善・修正を加えていくものとする。

(4) 課題

小中一貫教育において算数・数学科教育が担う 役割が何かを明らかにし、児童・生徒の実態に即 したより具体的な全体計画や年間指導計画を作成 する必要がある。

また,校種間連携における地元高校との連携において,小中一貫校から高校にどのようなアプローチができるのかを考えていく必要があると考える。

さらに、ふるさと科との関連における「協働的な学び」を通して、主体性などの情意面のみならず対人スキルなどの非認知的な能力も含めた育成についても検討していく必要がある。

(文責 小笠原恵・三井寺健司・小原俊介・関川 健生・菅原真紀)

算数・数学教育全体計画

【教育関係法規、教育行政施策】

- 日本国憲法 • 教育基本法
- 学校教育法 • 学習指導要領
- 岩手県学校教育指導指針
- 町教育方針

【学校教育目標】

ふるさとを愛し よく考え, 心豊かにたくましく生きる子どもの育成

【目指す子ども像】

- ・進んで考え、他者と協力しながら課題を解決する子ども
- ・ふるさとに誇りをもち、互いに認め合いながら自分のよさを伸ばそうとする子ども ・命を大切にし、心身を鍛え、ねばり強く取り組む子ども

【教師の願い】

- 基礎的・基本的な学習内容を確 実に身につけた子どもたちを育
- ・問題解決の過程において、根拠 を明らかにして筋道立てて自分 の考えを発表する力を育成した
- ・算数・数学で学んだことを他の 学習や生活に生かそうとする子 どもたちを育てたい。

【算数・数学科における児童生徒の実態】

・基礎的・基本的な学習内容の定着に課題が見られる。 ・意欲的に学習に取り組んでいるが、根拠をもとにして自 分の考えを話すことは十分にはできていない。

~H30 県学調結果より~

| 小学校:「図形」「量と測定」領域の正答率が低く,「数学的な考え方」に課題が見られる。

中学校:「図形」領域の正答率が低く,「数学的な考え

方」に課題が見られる。

【家庭・地域の実態】

- 家庭での学習時間が県平均より短く, テ レビやゲームなどの時間が長い傾向があ
- ・農村・漁業地域や住宅地など多種多様な 生活環境であるとともに, 震災に伴い, 生活環境が大きく変化した家庭もある。
- ふるさとの未来を担う子どもたちへの期 待が大きく, 学校の教育活動に対して協 力的な地域である。

【本校の算数・数学教育重点目標】

数学的活動を通して、以下の資質・能力を育成する

- ・各学年で学習する基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し 活用する力 (知・技)
- ・言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、根拠を明らかにしながら筋道立てて思考・表現する力(思・判・表等)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、目的意識をもって主体的・協働的に取り組む力(学びに向かう力・人間性等)

【算数・数学科の指導方針】

- ・数学的な思考力・表現力を高めるために、言葉、数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を適切に用いて、かいたり、話したりする活動を充実させる。(児童・生徒の実態から、今年度は特に「図形」領域に重点を置いて指導を行う。) ・「図形」領域において、数学的活動を通して、小学校では「筋道を立てた考察の仕方を知り、筋道を立てて説明する力」、中学校では「数
- 学的な推論に基づいて考察し表現する力」を育成する。 算数・数学で学習したことを,他教科や領域,以降の学年で活用できる場面を意図的に設定する。

- ・自他の考えを補い合ったりよさを生かし合ったりして課題を解決したり、他者とのかかわりを通して自らの考えを深めたり広げたりす る「協働的な学び」を取り入れ、「他者とかかわる力」を育成する。(ふるさと科との関連)

【ふるさと科】

ねらい

町の復興発展を担いうるグローカル人 材の育成

郷土に誇りをもち、社会の変化に柔軟 に対応し、将来への夢や希望を描き実現 へ向けて努力する子ども

3つの柱

- ①地域への愛着を結ぶ学び
- ②生き方・進路指導を充実させる力を育 オp学7ド
- ③防災教育を中心とした学び

算数・数学科との関連

- ・筋道立てて考える力
- ・目的に合わせて表やグラフを使って表 現する力
- ・分析,説明する力
- ※地域に目を向け、学ぶ意欲を高める算 数・数学科地域教材の開発
- ※「他者とかかわる力」を育成する「恊働 的な学び」の推進

【复数・数学教育の推准体制】

算数科・数学科主任

- 算数科主任と数学科主任が連携し、現状分 析と指導方針の検討を行う。
- 担任や算数科・数学科と連携し、現状の成 果や課題と指導方針を共有する。
- ・子ども支援部会と連携し、子どもたちの課 題や目標等を共有する。
- ・各校種の研究主任と連携し、研究の方向性 を決定する。

担任、算数科·数学科教員

- ·学年を超えて他の教員と連携し、_□指導方法 や②算数・数学の教科的一貫性、③子どもの 発達段階を確認・共有する。
- ・算数・数学科主任と連携し、現状の成果や 課題と指導方針を共有する。

【校種間連携】

○縦軸連携

- ・幼稚園・保育園等と連携して、アプロー チ・カリキュラム, スタートカリキュラ ムを充実させ, 幼児期と小学校教育との 円滑な接続を図る。
- 児童生徒と高校生との交流体験やキャ リア教育における高校生講話, 高校生に よる小中学生向けの「算数・数学チャレ ンジ問題」の作成などを通して地元高校 との連携を図る。

横軸連携

町内の小学校・中学校同士で連携し、授 業改善の研修を充実させ、授業スタイル の共有を図る。

- 【家庭や地域等との連携・評価】 「コミュニティスクール協議会」の評価・ 検証委員会を核として、学校・家庭・地域 (NPO含む)が協働し、子どもたちの「豊 かな育ち」と「確かな学び」を保障する。
- 子ども支援部会 地域学校協働部会
- 地域学校安全部会

PLAN

全体計画

年間指導計画

DO

算数・数学教育推進 全体計画 加筆・修正

CHECK

学力調査・意識調査 生徒・教師 (学期)

ACTION

算数・数学教育の指導改善

【算数・数学教育で目指す子どもの姿】

幼児期で目指す姿

日常生活や遊びを通して、数量や図形に関する興味や関心を持ち、物事の法則性に気付いたり、自分なりに考えたり、他の幼児の考えなどに触れて新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わいながら自分の考えをよりよいものにしようとしたりする子ども。

小中一貫教育9年間で目指す姿(9年生修了時のゴールの姿)

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察したり表現したりして数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりする子ども。

- ・思考力・判断力・<u>表現力</u>:数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりするカ
- ・数学的活動:「日常の事象及び数学の事象を対象とした問題解決の活動」「数学的な表現を生かしながら互いに伝え合う活動」←今年度の重点活動!
- ・協働的な学び:自他の考えを補い合ったりよさを生かし合ったりして課題を解決したり、他者とのかかわりを通して自らの考えを深めたり広げたりする学び

	学年	協備的な学びの姿	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
		自分の考え	数の概念と表し方及び計算の意味を理解	ものの数・形などに着目し、計算の仕方や形の構	数量や図形に親しみ,算数で学んだことのよ
	1	を持って友達	し、数量や図形についての感覚を豊かにし、	成について考えたことを, 具体物や図などを用いて	や楽しさを感じながら学ぶ子ども。
	年	と意見交換を	数学的な処理や表現の基礎となる技能を身	表現する子ども。	
		行い, 互いの	につけた子ども。		
		共通点や相違	基本的な数量や図形の概念や意味、性質	数量関係や図形の構成要素などに着目し,計算の	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・
	2	点を整理しな	を確実に理解し、数学的な処理や表現の基	仕方や身の回りの事象について考察したことを,具	理したことを振り返り, 数理的な処理のよさに
ホ	年	がら学ぶ子ど	礎となる技能を身につけた子ども。	体物,図,数,式などを用いて表現し伝え合う子ど	付き生活や学習に活用しようとする子ども。
ツプ	₽.			<i>\$</i> .	
プ 期			基本的な数量や図形の概念や意味、性質	数量関係や図形の構成要素などに着目し,計算の仕	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・
	3 年		を確実に理解し、数学的な処理や表現の基	方や身の回りの事象について考察したことを,具体	理したことを振り返り, 数理的な処理のよさに
	_		礎となる技能を身につけた子ども。	物,図,数,式などを用いて表現し伝え合う子ども。	付き生活や学習に活用しようとする子ども。
			基本的な数量や図形の概念及び意味、性	数量関係や図形の構成要素及び位置関係などに	数学的に表現・処理したことを振り返り、多
	4		質や数量関係、表やグラフなどの意味を確	着目し,計算の仕方や図形の性質や図形の計量など	的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り
	年		実に理解し、適切に数理的な処理や表現が	について考察したことを,図や式などを用いて数学	く考える態度,数学のよさに気付き学習したこ
			できる技能を確かに身につけた子ども。	的に表現し伝え合う子ども。	を生活や学習に活用しようとする子ども。
		互いの立場	基本的な数量や図形の概念及び意味、性	計算の意味や図形の構成要素や図形間の関係な	数学的に表現・処理したことを振り返り、多
	5	や意図をはっ	質や数量関係,表やグラフなどの意味を確	どに着目し、計算の仕方や図形の性質や図形の計量	的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り
	5 年 きりさせなが ら友達と意見		実に理解し、適切に数理的な処理や表現が	などについて考察したことを, 図や式などを用いて	く考える態度,数学のよさに気付き学習したこ
			できる技能を確かに身につけた子ども。	数学的に表現し伝え合う子ども。	を生活や学習に活用しようとする子ども。
		を伝え合い,	基本的な数量や図形の概念及び意味、性	計算の意味や図形を構成する要素や, 図形の構成	数学的に表現・処理したことを振り返り、多
ス		互いのよい考	質や数量関係、表やグラフなどの意味を確	要素や図形間の関係などに着目し,問題解決の思考	的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り
テッ	6	えを取り入れ	実に理解し、小学校での算数学習で身につ	過程やその結果を,解決の目的に適した図や式など	く考える態度,数学のよさに気付き学習したこ
プ	年	ながら課題を	けた技能を生かしながら, 適切な数理的な	を用いて数学的に表現し伝え合う子ども。	を生活や学習に活用しようとする子ども。
期		解決する子ど	処理や表現ができる技能を確かに身につけ		
		t .	た子ども。		
			基礎的な概念や原理・法則などを確実に	言葉や数,式,図,表,グラフなどを適切に用い	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付い
	7		理解し、問題発見・解決の基礎をなす技能	て, 問題解決に向けて思考した過程や, 得られた事	粘り強く考え,数学を生活や学習に生かそうと
	年		を身につけた子ども。	実や方法,判断の根拠などを筋道立てて説明し伝え	たり問題解決過程を振り返って検討しようと
				合う子ども。	たり多面的に捉え考えようとしたりする子ど
		帰納・類推・	基礎的な概念や原理・法則などを、既習	言葉や数,式,図,表,グラフなどを相互に関連	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し
		演繹などの推	の知識と関連付けて確実に理解し、問題発	付けながら適切に用いて,数量や図形などに関する	粘り強く考え,数学を生活や学習に生かそうと
	8 年	論を用いて思	見・解決の基礎をなす技能を身につけた子	事実や処理の仕方,思考の過程や判断の根拠などを	たり、問題解決の過程を振り返って評価・改善
ジ	•	考し, 伝え合	ども。	論理的に説明し伝え合う子ども。	ようとしたり、多様な考えを認めよりよく問題
ノヤン		う活動を行い			決しようとしたりする子ども。
ンプ期		ながら, 自ら	基礎的な概念や原理・法則などを、既習	事象について,数学を活用して論理的に考察した	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し
期		の考えを広げ	の知識と関連付けて確実に理解し、問題発	り,数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展	粘り強く考え,数学を生活や学習に生かそうと
	9 年	たり深めたり	見・解決の過程を遂行できるよう, その基	的に考察したりしたことを, 数学的な表現を用いて	たり、問題解決の過程を振り返って評価・改善
	'	する子ども。	礎をなす技能を身につけた子ども。	簡潔・明瞭・的確に説明し伝え合う子ども。	ようとしたり、多様な考えを認めよりよく問題
					決しようとしたりする子ども。

算数·数学科 年間指導計画

- ◎・・・今年度の重点目標「図形」領域を学習する月
- ○「数と計算」「数と式」 ★「図形」 ☆「測定」 △「変化と関係」「関数」 □「データの活用」

当左	各学年で重点的に育成する力		4月		5月		6月		7月	8	3月
 _	ロナサ(単無別に月成する力	重	単元名	重	単元名	重	単元名	重	単元名	Ĺ	
1	ものの数・形などに着目し、 計算の仕方や形の構成について 考えたことを、具体物や図など を用いて表現する力		○なかまづくりとかず ※こえにだしていおう		○なんばんめ ○いくつといくつ		○あわせていくつふえる といくつ ○のこりはいくつちがい はいくつ		○10よりおおきいかず ☆なんじなんじはん ※おぼえているかな		
2	数量関係や図形の構成要素な どに着目し、計算の仕方や身の 回りの事象について考察したこ とを,具体物、図、数、式など を用いて表現し伝え合う力		わかりやすくあらわそう ※おぼえているかな ○たし算のしかたを考え よう		○ひき算のしかたを考えよう ※どんな計算になるのかな ☆長さをはかろう		※おぼえているかな ○100より大きい数をし らべよう ☆ 木のかさをはかろう ※おぼえているかな		☆時計を生活に生かそう ※おぼえているかな		
3	数量関係や図形の構成要素な どに着目し、計算の仕方や身の 回りの事象について考察したこ とを,具体物、図、数、式など を用いて表現し伝え合う力		○九九を見なおそう ☆時こくと時間のもとめ 方を考えよう		☆長さをはかろう ※おぼえているかな ○新しい計算を考えよう	0	○大きい数の計算を考え よう ※考える力をのばそう ○計算のしかたをくふう しよう ※かたちであそぼう		○わり算を考えよう ※おぼえているかな		
4	数量関係や図形の構成要素及 び位置関係などに着目し、計算 の仕方や図形の性質や図形の計 基などについて考察したこと を、図や式などを用いて数学的 に表現し伝え合う力	0	□グラフや表を使って調 べよう ※おぼえているかな ★ 角の大きさの表し方を 考えよう		○わり算のしかたを考えよう	0	※おぼえているかな ★四角形を調べよう		※考える力をのばそう ○そろばん		
5	計算の意味や図形の構成要素 や図形間の関係などに着目し、 計算の仕方や図形の性質や図形 の計算が出ていて考察したことを、図や式などを用いて数学 的に表現し伝え合う力	0	○数のしくみを調べよう ※おぼえているかな ★ 直方体や立方体のかさ の表し方を考えよう		△変わり方を調べよう ○小数のかけ算を考えよう		○小数のわり算を考えよ う ※どんな計算になるのか な ※おぼえているかな	0	★形も大きさも同じ図形 <u>を調べよう</u>		
6	計算の意味や図形を構成する 要素や、図形の構成要素や図形 関係などに着目し、問題解 決の思考過程やその結果を、解 決の目的に適した図や式などを 用いて数学的に表現し伝え合う 力	0	★つりあいのとれた形を 圏べよう ※おぼえているかな	0	★田の面積の求め方を考えよう う ○文字を使って式に表そう ※おぼえているかな ○分数のかけ算を考えよう	0	※ かたちであそぼう ○分数のわり算を考えよ う	0	※どんな計算になるのかな ★角柱や円柱の体積の求 め方を考えよう ★およその面積や体積を 求めよう		
7	言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、問題解 決に向けて思考した過程や、得 られた事実や方法、判断の根拠 などを筋道立てて説明し伝え合 う力		○正負の数 (1)正負の数 (2)加法と減法		(3)乗法と除法 (4)正負の数の利用 章の問題A		○文字と式 (1) 文字を使った式 (2) 文字式の計算 (3) 文字式の利用		章の問題A ○方程式 (1) 方程式とその解き方		
8	言葉や数、式、図、表、グラフなどを相互に関連付けながら 適切に用いて、数量や図形など に関する事実や処理の仕方、思 考の過程や判断の根拠などを論 理的に説明し伝え合う力		○式の計算 (1)式の計算		(2) 文字式の利用 章の問題A		○連立方程式 (1)連立方程式とその解 き方 (2)連立方程式の利用章 の問題A		△1次関数 (1)1次関数		
9	事象について、数学を活用して論理的に考察したり、数量や 図形などの性質を見いだし統合 的・発展的に考察したりしたことを、数学的な表現を用いて簡 漆・明瞭・的確に説明し伝え合 う力		○多項式 (1)多項式の計算		(2)因数分解 (3)式の計算の利用 章の問題A ○平方根 (1)平方根		(2)根号をふくむ式の計算 算章の問題 A ○ 2次方程式の利用 (1) 2次方程式とその解き方		(2) 2 次方程式の利用章の 問題 A		

算数・数学科 年間指導計画

- ◎・・・・今年度の重点目標「図形」領域を学習する月
- ○「数と計算」「数と式」 ★「図形」 ☆「測定」 △「変化と関係」「関数」 □「データの活用」

学年		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月
	重	単元名	重	単元名	重	単元名	重	単元名	重	単元名	重	単元名	重	単元名
1		☆どちらがながい ○3つのかずのけい さん △どちらがおおい ※おぼえているかな	0	○たしざん ★ かたちあそび		○ひきざん ※どんなけけいさんに なるのか		☆どちらがひろい ※けいさんびらみっ ど ※おぼえているかな		○おおきいかず ※おぼえているかな	0	☆なんじなんぶん ※ビルをつくろう □ずをつかってかん がえよう ★かたちづくり		※ばしょをあらわそ う ※1ねんのふくしゅ う
2	0	○計算のしかたをく ふうしよう ※おぼえているかな ○ひっ算のしかたを 考えよう ★ 形をしらべよう ※おぼえているかな		○新しい計算を考え よう ※九九ビンゴ		○九九をつくろう ※おぼえているかな		○1000より大きい数 をしらべよう		☆長さをはかろう ※おぼえているかな	0	□図をつかって考え よう ※おぼえているかな ○分けた大きさのあ らわし方をしらべよ う ★はこを作ろう		※計算ピラミッド ※2年のふくしゅう
3		○10000より大きい数 を調べよう ※おぼえているかな ○かけ算のしかたを 考えよう		○大きい数のわり算 を考えよう ※どんな計算になる のかな ※おはえているかな ○はしたの大きさの 表し方を考えよう	0	※考える力をのばそう ☆ 重さを敬で表そう ※おぼえているかな ★ まるい形を調べよう		○はしたの大きさの 表し方を考えよう ※おぼえているかな		○□を使って場面を 式に表そう ※おぼえているかな ○かけ算の筆算を考 えよう	0	★三角形のなかまを 関ペよう ※おぼえているかな □見やすく整理して 表そう	0	○そろばん ※かたちであそぼう ※考える力をのばそ う ※3年のふくしゅう
4		○1億より大きい数 を調べよう ※おぼえているかな ○わり第の筆算を考 えよう	0	※かたちであそぼう ○およその数の表し カを考えよう ○計算のやくそくを 調べよう	0	※おぼえているかな ★広さを関べよう ○小数のしくみを調べ よう		△どのように変わる か調べよう ※おぼえているかな		○小数のかけ算とわ り算を考えよう ※お話えているかな ※どんな計算になる のかな	0	○分数をくわしく調 べよう ★箱の形を調べよう	0	※かたちであそぼう ※考える力をのばそう ※4年のふくしゅう ※算数おもしろ旅行
5	0	○整数の性質を調べよう○分数と小数、整数の関係を調べよう※考える力をのばそう※かたちであそぼう		○分数をもっとくわ しく調べよう※算数 の目で見てみよう ※おぼえているかな	0	□比べ方を考えよう ※考える力をのばそう ★図形の形を開べよう	0	★面積の求め方を考えよう ※おぼえているかな	0	△比べ方を考えよう ※考える力をのばそ う ※ かたちであそぼ う	0	★ 多角形と円をくわ 上く間べよう しくま はまえているかな ○分数のかけ算とわ り算を考えよう	0	★立体をくわしく闘 ペよう ※算数の目で見てみよう ※第5年のふくしゅう ※算数おもしろ旅行
6	©	△割合の表し方を考 えよう ※おぼえているかな ★形が見じで大きさ がちがう図形を調べ よう		※おぼえているかな △速さの表し方を考 えよう ※算数の目で見てみ よう	0	△比例をくわしく調べ よう ※ かたちであそぼう ※考える力をのばそう ※おぼえているかな		□順序よく整理して 調べよう ※考える力をのばそ う ※おぼえているかな		□資料の特ちょうを 調べよう ※おぼえているかな ☆量の単位のしくみ を調べよう		※算数の目で見てみよう よう数のまとめ		※算数卒業旅行
7		(2) 1 次方程式の利用 章の問題A		△比例と反比例 (1)開数 (2)比例 (3)反比例	0	△比例と反比例の利用 章の問題A ★平面図形 (1) 図形の移動 (2) 基本の作図	©	(3) <u>おうぎ形</u> 章の問題 A <u>李四間図形</u> (1) いろいろな立体	©	(2) <u>立体の見方と関 ベ方</u> (3) <u>立体の体積と表</u> 面積 章の問題A		□資料の分析と活用 (1)資料の分析 (2)資料の活用		(3)近似値と有効数 字 章の問題 A
8		(2) 1 次関数と方程式	0	(3) 1 次関数の利用 章の問題A ★ <u>平行と合同</u> (1) <u>製明のしくみ</u> (2) <u>平行線と角</u>	0	(3) 全同な図形 章の問題A	0	★三角形と四角形 (1) 三角形	©	(2) <u>平行四辺形</u> 章の問題 A		□確率 (1)確率 章の問題A		復習
9		△開数y=ax (1)関数y=ax (2)いろな関数の 利用 章の問題A	0	★相似な図形 (1) 相似な図形 (2) 平行機と比	0	(3)相似な図形の面積 と体積 章の問題A * 世 (1) 円周角の定理 (2) 円周角の定理 で2) 円周角の定理の利 用 章の問題A	0	★三平方の定理 (1) 三平方の定理 (2) 三平方の定理の利 用 章の問題A		△標本調査 (1)標本調査		(2)標本調査の利用 章の問題A		復習

第6学年算数科学習指導案(略案)

- 1 単元名 およその面積や体積を求めよう
- 2 主題 大槌町の面積を調べよう
- 3 本時の指導
- (1) 目標

○大湖町のおよその面積を、これまで学習してきた図形に分割した形として捉えることを通して、測定することができる。○これまで学習してきた図形と対応させ、測定する見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。

(2) 評価規準

〇これまで学習してきた図形と対応させ、測定する見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。【思考カ・判断力・表現力等】 〇大槌町のおよその面積を、測定することができる。【技能】

(3)展開

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点, 評価規準® 等	備考
導入 (8)	1 本時の学習課題を把握する。 (1) 大槌町の地図を見て、面積を求めるには、このままでは求められないことを確認する。 どうすれば大槌町の面積を求めることができるか考えよう。 2 学習内容の見通しを持つ。 (1) どうすれば求められそうか、予想を立てる。 ・これまで習った図形に直す。 ・分けて考える。	・大槌町の衛型写真を見せて、面積がどれくらいか 考えさせる。 ・展習のおよその面積を求めたときの考え方を想起 させ、既習の図形に分割して考えればいいことに 気づかせる。	
展開!	3 学習課題を追求する.		
(30)	(1) 各班で話し合いながら、面積を来める。 ・方眼シートを重ねて、考える。 ・中途半線な形のところは、既習の図形と捉えて求める。 ・1km×1kmが0個だから・・・ ・ここは三角形に見える。 (2) 各班で求めた考え方を全体で共有する。	・各班に大規町の新瓜写真と lkm×1kmのマスを印 刷した透明なシートを配り、重ねて考えさせる。 ・1km×1km が何朝分ありそうかや、どんな図形に 見えるかなどの声がけを適宜行う。	・方眼シート (透明) ・大槎町の地区
	(3) 実際の面積と比べてみる。4 学習のまとめをする。大機町のよりに複雑な形でも、これまでに学習した関形を基	 ◎これまで学習してきた図形に分割した形として 捉えることを通して、測定することができる。 (発言・ノート) ・答えの正娘さよりも、これまで学習してきた図 形に分割した形として捉えていることを領値づ ける。 ◎これまで学習してきた図形と対応させ、測定する見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。(発言・発表内容) にして考えれば、面積を求めることができる。 	
44.+-			. ,
終末 (7)	4 本時の振り返りを行う.	・本時で分かったことや、考えたことについて感 想を発表させる.	・ノート

今年度の重点目標「図形」領域における。ふるさと科と関連した事数・数学科の指導の具体例として6年生の指導業を作成した。地域に目を向けた数材を作成すること、学習活動に協働的な学びを取り入れ、「他者とかかわる力」を高めることに領意した。次の単元では、割合の学習で人口密度の求め方も学ぶため、今回の面積の学習を生かして、大総町の抱える問題に目を向けることにもつながると考える。

第9学年数学科学習指導案(略案)

- 1 単元名 三平方の定理 (2節 三平方の定理の利用)
- 2 主題 大槌学園にロープウェイ!?
- 3 本時の指導
- (1) ねらい

○身の周りで三平方の定理が使われていることを実感させる。○高校数学への見通しをもたせる。

(2) 評価規準

【関心・意欲・態度】

〇川随解決の過程を調整しながら学習を行っている。

(3) 展開

	学習内容および学習活動	指導上の留意点, 評価規準◎ 等
導入 (12)	1 問題提起 ・函館山,摩耶, 六甲有馬にあるロープウェイの仕様を提示し, これらに共通する 性質を問う。 2 間路提示	・電点を用意する。 ・ 電点を用意する。 ・ おおよその値を吹めることに留意させる
	もしも大樹学属と小鯨山との間にロープウェイを設置するとしたら、何mのローブがJ	
	お	・タブレット爆末を用意する。 【関心・意欲・態度】 ②問題解決の過程を調整しながら学習を行っている。(学びの様子・発音)
展開 (28)	5 問題炎起 丁本当に標高と距離が分からなければローブの及さって求められない? S求められません。 丁水平方向から鯨山を見上げた角度が30°だったら? S:あー、求められそう。 丁他に何度であれば求められそうかな? S:45°、60° T:50°だったら?	・直角三角形において、有名角であれば一辺と角度 さえ分かれば求めたい長さが求められることを 押さえる。
	 S分からない。 T今は分からないかもしれないけど。高校で勉強すれば求められるようになります。少しだけ紹介。 高校の学習内容に触れる。 ・直角三角形において、1つの長さと1つの角度が分かっていれば、三角比を基に求めたい長さが分かることを紹介。 	・三角比の表を用意する。 ・表の使い方や有名角の時には特別な直角三角5 の3辺の比になっていることを中心に扱う。
終結 (10)	7 本助及び本単元の振り返り S:スロープを作るときにも使えそうだと考えた、計算もがんばりたい。 S:長さだけでなく、角度が分かれば求めたい長さを知ることができる。高校の学習 の三角比が楽しみだ。	・本単元を譲り返りながら、数学的価値を再彩練せる。

「『もしも』ロープウェイを作るなら」と仮定したり、地形や距離などを理想化単純化したりしながら考えていく数学的活動によって、数学の有用性を実践させていくことを重点にした。また、今までの学習から「駅からロープウェイを作れば観光をが増えそう」「スロープを作るときに使えそう」といった町づくりの視点による発音も大切にすることや測定は高校数学の三角関数とも関連するため見通しをもたせることに何意した。

第4章 本研究の成果と課題

小中一貫カリキュラム開発の全体発表会における, 岩手県立総合教育センター藤岡宏章所長からのコメントを次にあげる。

1 カリキュラムの検討・作成にあたって確認すべき事項について

(1) 計画の条件基盤の確認について

実際の場合は、学校の状況、児童生徒の状況、 学校を取り巻く状況(地域の状況や社会動向に加 え、保護者の願いや地域の想いを含む)等を確 認・把握して計画される。

今回は、「沿岸」「被災地」「小中一貫」という 基盤となる条件があることから、それぞれのフィ ルターを通して、「学習材としての特色」、「思考 の場や活動の場の特色」等を整理し、そのことを 踏まえた計画を考え、各学習を配置していくこと が求められる。

(2) 一貫教育としての確認について

計画を構成する項目や内容・要素に一貫性があるかが問われる。それぞれの内容は適切であっても、それぞれに「一貫教育」として関連性が見え、一般論ではない特長的なものが感じられなければならない。このことは、例えば系統性という視点においても同様でありある。そもそも学習指導要領は系統的に内容が構成されていることから、その上で一貫教育としての系統をオリジナルのものとして創造できるかがカギとなる。

2 成果について

・カリキュラム・マネジメントが求められている 今,具体を想定して計画を立案してみることはか けがえのない経験であり、そのことで教育活動を 俯瞰的に見ることでこれまで見えなかったこと, 気づかなかったこと等様々な課題が明らかにでき たと思われる。

・カリキュラムの立案にあたってのベースとなる 考え方(理論)をまとめ、具体として9年間を通 した計画を立て、その考えの具現化を図るプロセ スは正統的なアプローチと言える。そのことを踏まえて、計画が構造的であり、「重点」「方針」に加えて、「指導方法」に留まらずその「推進体制」にまで目を向けていることは興味深い。

・小中一貫で教育を考えることは、教育活動をダイナミックなものにするとともに、9年間の学びをねらいから外れること無く、それぞれのパーツとなる活動や取り組みを、1つの柱に沿ってつなぎ・整理・分類することでより効果的な教育展開が可能となる。

3 課題について

・学校としての小中一貫教育の考え方を述べることは大切であり、そのことに沿って一貫教育における教科や領域が担うものは何か、そして一貫教育であるためには、どのようなアプローチ・切り口があり、その具現化のための手立てはどのようなことが考えられるのかという視点で計画を改めて検証してみる必要がある。

・ホップ・ステップ・ジャンプの3つの期は、学校経営の考えに基づく教育課程編成の根幹の1つである。この「期」の編成の意図・ねらいを踏まえ、教科等の特色を加味し、より効果的なカリキュラムにしていくためには、共通する基盤にありながらも柔軟性ある編成に目を向けていく必要がある。その際、各期の接続の在り方は重要な論点であり、ぜひ議論のテーマにしたい。

・発達段階に応じた資質・能力を明確にすることは極めて重要であり、その上で、例えば総合のように「ふるさと科の3つの柱」と「3つの期」を整理・分類し、各活動に系統性と整合性を持たせ、いつ・どこで・何に取り組むべきかを明からにしたことは検証・評価の精度の向上にもつながる。指導方法、指導体制に加えて、評価方法を明確にすることは、どの教科等においても進めていく必要がある。

・今回の計画立案にあたっては、参考地域の状況をもっと色濃く出した大胆な計画が可能であったと思われる。例えば、地域コミュニティとの関わりの視点にさらに踏み込みこむことで教育課程に

特色を持たせることができるとともに,地域を巻き込み地域の教育力の向上にもつながり,地域活性化の1つの視点にもなっていく。このように計画の参考地域の状況を十分に生かしたオリジナル性の高い提案を今後期待したい。また,校種間連携に関することは今後益々重要となる。高校との連携は双方向性をもたせることができるかがカギとなる。また,教科等をふるさと科と関連させていくためには,地域素材の開発や地域コミュニティの活用等,多角的・多面的なアプローチで切りこむ必要があろう。

(文責 藤岡宏章)

第5章 今後への期待

前期「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」と後期「学習指導要領とカリキュラム開発」の2つの授業は、カリキュラムの考え方やカリキュラムを開発する力を身に付けることを目的として行ったものである。この2つの授業を通して、院生は、学習指導要領で求められているカリキュラム・マネジメントの必要性や、考え方を理解するとともに、実際にカリキュラムを作成することにより、カリキュラムを開発する力が身に付いたと考える。

これまで各教科における全体計画を作成することは、学校現場においてはあまり見られなかった。カリキュラム・マネジメントや「学びの地図」の観点が強調される今回の教育課程改革の趣旨を踏まえると、例えば教科間や教科と総合学習をつなぐ視点から教科の全体計画を作成することは、今後ますます必要となると考えられる。また、本県においても小中一貫教育や校種間の接続が今後一層求められる。このことを踏まえると、今回のカリキュラム開発は、これからの学校経営や教育課程の編成にとって意義あるものといえる。

今後, 今回作成したカリキュラムを学校現場で 実践し, さらに検証・修正・改善に努めていくこ とを期待したい。

(文責 小岩和彦)

<引用・参照文献>

- 1) 校種間接続としては、すでに公立の中学校・ 高等学校については、平成10(1998)年6月の 学校教育法改正により、翌年4月より、中学校 から高等学校までの一貫した教育を行う単一学 校として中等教育学校の設置や、併設型ないし 連携型の中高一貫教育を行うことが可能になっ ている。また、従来も研究開発学校や構造改革 特別区域などで小中一貫教育などの取組みが行 われてきたが、平成17 (2005) 年の中央教育審 議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」 において、6・3制の見直しや9年制の義務教 育学校の可能性など、校種間の接続の見直しの 検討が示されて以降、呉市や品川区など各自治 体で公立の小中一貫教育の取り組みが見られる ようになってきた。その後、平成27(2015)年 6月の学校教育法の改正を経て、翌年4月より、 公立の小中一貫教育校として、義務教育学校の 設置が認められるようになり、政策的に小中一 貫教育がいっそう進むことが想定される。本研 究では、このような政策動向も踏まえ、改訂学 習指導要領でも挙げられる校種間の接続の観点 から、岩手県初の義務教育学校である大槌学園 を参考にしつつ、小中一貫教育という条件のも とでモデルカリキュラムの開発を行った。
- 2) 平成30年度全国学力·学習状況調査結果資料 参照。(2019. 1. 15閱覧)

http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/factsheet/18prefecture-City/03 iwate/index.html

- 3) 平成30年度岩手県小・中学校学習定着度状況 調査結果報告 参照。(2019.1.15閲覧) http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/
 - gakuryoku/51821/index.html
- 4) 小中一貫教育全国連絡協議会,大槌町,大槌町教育委員会『平成30年度第13回小中一貫教育全国サミットinおおつち すべての子どもたちに「豊かな育ち」と「確かな学び」を保障する小中一貫教育~10年後・20年後の日本を担うグローカル人材の育成を目指して~』(2018)参照。

- 5) 中央教育審議会「幼稚園,小学校,中学校, 高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の 改善及び必要な方策等について(答申)」(2016
- 年12月21日)参照。
- 6) 文部科学省「小学校学習指導要領解説 国語編」(2017) 参照。
- 7) 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編」(2017) 参照。
- 8) 大槌町教育委員会 『大槌町の教育~学校・ 家庭・地域がチームで創る教育~』(2018) 参照。
- 9) 光村図書出版 小学校国語 「年間指導計画· 評価計画資料」参照。(2019. 1. 29閲覧) http:// www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/s_kokugo/ index.html
 - および光村図書出版 中学校国語 「年間指導計画・評価計画資料」参照。(2019. 1. 29閲覧) http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c_kokugo/keikaku/index.html
- 10)福山市立城北中学校平成29年度第1学年「全体計画」参照。(2019.1.22閲覧)
 - http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/ chu-johoku/schoolplan/2018_syllabus/2018_ syllabus_lnen.pdf
- 11) 大槌町教育委員会『大槌の教育~学校·家庭・ 地域がチームで創る教育~』(2018) 参照。
- 12) 平成29年度岩手県小・中学校学習定着度状 況調査結果報告 参照。(2019.1.15閲覧) http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/
 - http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/gakuryoku/51821/061057.html
- 13) 平成30年度岩手県小・中学校学習定着度状 況調査結果報告 参照。(2019.1.15閲覧)
 - http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/gakuryoku/51821/070249.html
- 14) 文部科学省『小学校学習指導要領解説(平成29年告示)算数編』(2018) 参照。
- 15) 文部科学省『中学校学習指導要領解説(平成29年告示)数学編』(2018) 参照。
- 16) 小中一貫教育全国連絡協議会,大槌町,大槌町教育委員会『すべての子どもたちに「豊かな育ち」と「確かな学び」を保障する小中一貫教

- 育~10年後・20年後の日本を担うグローカル人材の育成を目指して~平成30年度 第13回小中一貫教育全国サミット in おおつち』(2018)参照。
- 17) 東京書籍「新編 新しい数学」年間指導計画 作成資料 参照。(2019.1.15閲覧)
 - https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/keikaku/sugaku/index.htm
- 18) 福山市立城北中学校 平成 2 9 年度第 3 学年 「全体計画(年間指導計画一覧表)」(2017) 参照。 (2019. 1. 28閲覧) http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-johoku/